



山形県の 英語教育充実だより

令和6年6月版
山形県教育局
義務教育課

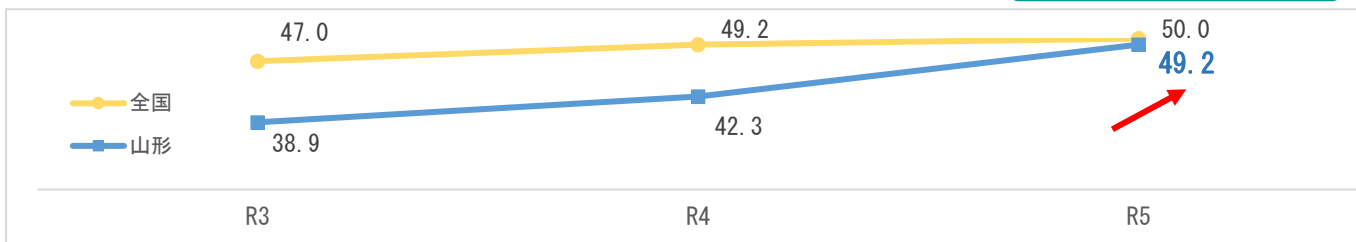
Topic 英語教育実施状況調査から授業改善を考える

文部科学省から、「令和5年度英語教育実施状況調査」の結果が公表されました。本号では、調査結果から見える山形県の状況と授業改善について考えます。

生徒の英語力の状況（中学校）

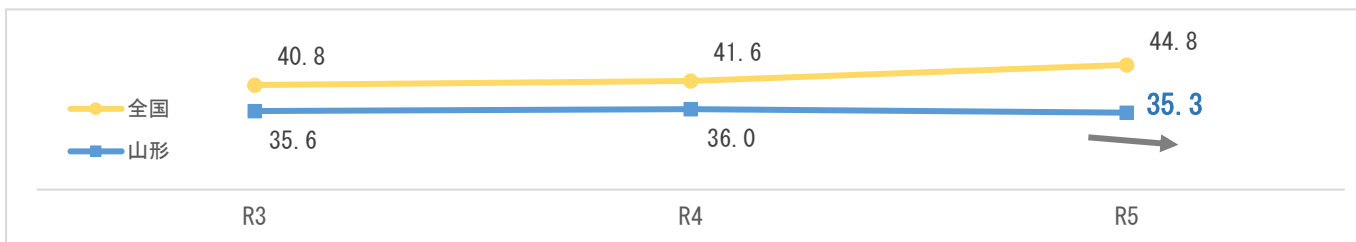
※CEFR A1 レベル相当以上

大きく向上！



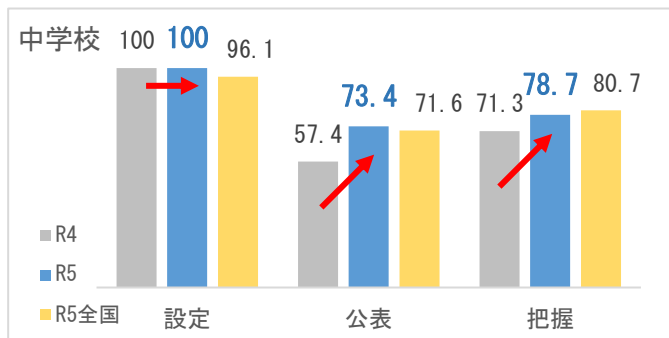
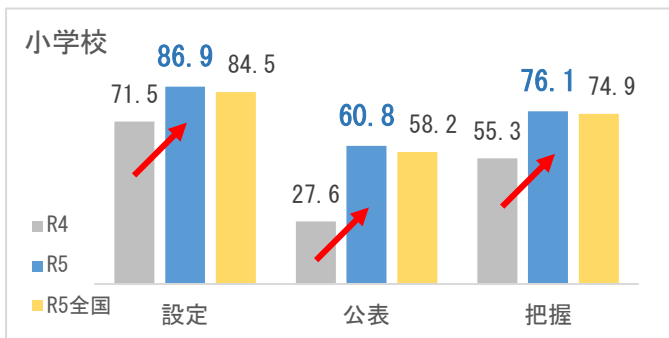
教師の英語力の状況（中学校）

※CEFR B2 レベル相当以上

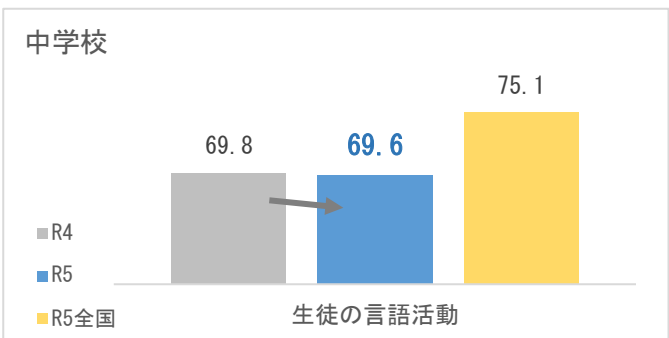
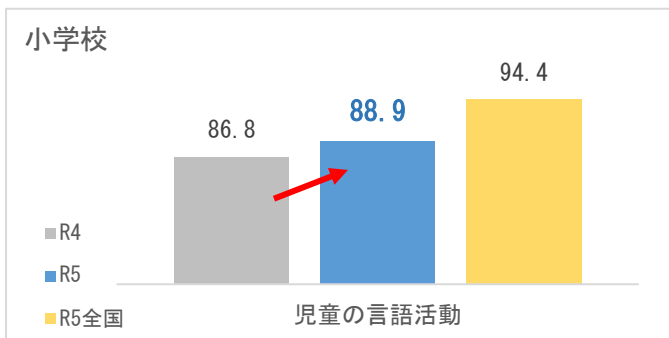


「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定・公表・把握の状況

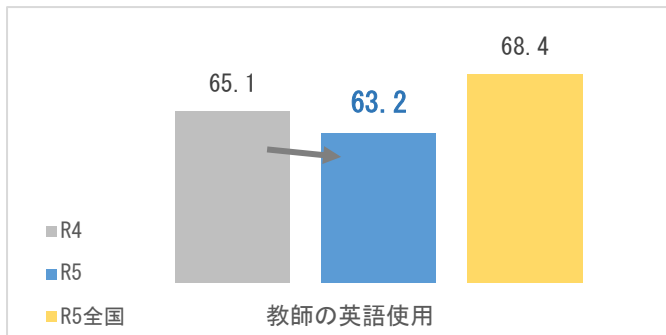
小中学校ともに向上！



児童・生徒の英語による言語活動の割合（授業の50%以上）



教師の英語使用の割合（発話の50%以上）（中学校）

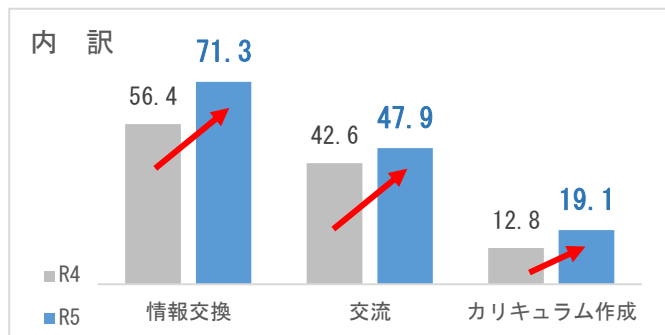
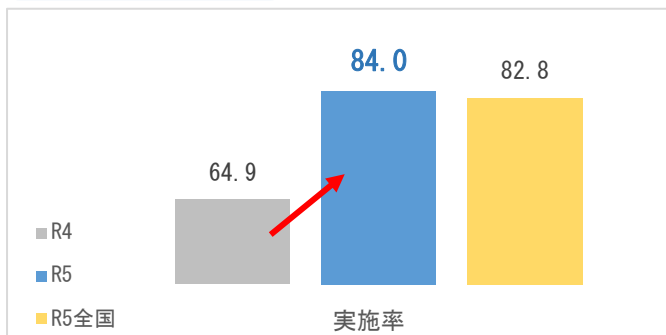


文部科学省の
公表資料はこちら

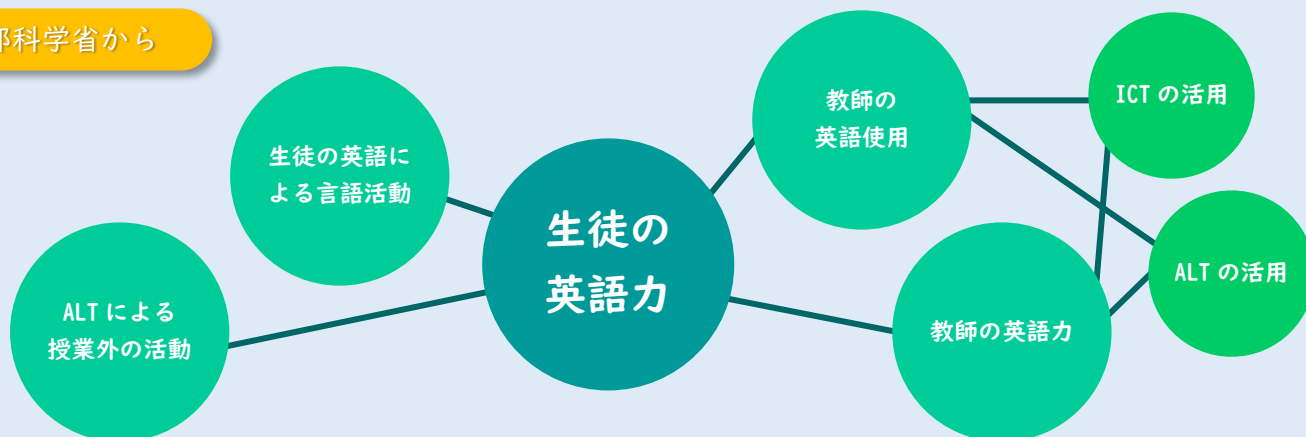


小中連携の実施状況

実施の割合が大きく向上！



文部科学省から



「生徒の英語力」に、特に影響を与えている項目

- ☞ 「生徒の英語による言語活動」 「教師の英語使用・英語力」 「ALTとの授業外活動」
- ☞ 言語活動や教師の英語使用の充実には、「ICT・ALTの活用」等が重要

山形県の授業の充実に向けて

□ 児童生徒が授業で英語を使う時間を十分に確保しましょう

- ・目的・場面・状況等に応じて、英語を聞いたり読んだりする活動や、自分の考えや気持ちなどを話したり書いたりする活動などを十分に行いましょう。

□ 教師が積極的に英語を使用して授業を行いましょう

- ・児童生徒とのやり取りや発話に対する応答、活動のモデルなど、教師の英語使用は授業の充実につながります。教師の積極的に英語使用と、その充実に向けた、教師自身の英語力向上に努めましょう。

□ ICTとALTを目的に応じて活用しましょう

- ・ICTとALTのそれぞれの良さを生かせる場面を考えながら、積極的に活用しましょう。